

たいなごい

議会だより

No.89

令和8年4月30日
(2026年)

【題字】鈴木 美南 さん

地本集落在住の河内さんファミリー
左から

尊(たける)さん 11歳(小6)
涉(わたる)さん 9歳(小4)
唯(ゆい)さん 6歳(年長)



令和8年度予算審査特別委員会	2～5ページ
会派代表質問(4人)	6～9ページ
一般質問(6人)	10～15ページ
令和8年第1回定例会 議決結果	16ページ
議員討論	17ページ
常任委員会審査・その後シリーズ	18～19ページ
閉会中所管事務調査報告・ 市民と議会の意見交換会の開催案内	20～21ページ

胎内市議会

インスタグラム



フェイスブック



ホームページ



令和8年度

当初予算を可決

令和8年度第1回定例会は、2月20日から3月18日までの27日間にわたり開催されました。

今年度の予算のポイント

《8つの施策の柱で市政を運営》

防災・減災への対策と取組

防災事業
2,138万円



「気象防災アドバイザー」の助言を活かして地域防災力の強化を進めます。

高齢化社会への対応・コミュニティ支援

介護予防・地域交流推進事業
(新規) 160万円

高齢者が参加しやすい環境を整備し、介護予防プログラムの提供や交流活動の場の拡充を図ります。

洋上風力発電事業

洋上風力発電関連・円滑推進 84万円

事業者や市民と共に地域振興策を検討するなど、洋上風力発電事業を基軸としたまちづくりを進めます。

子育て・教育

子育て支援事業(拡充)
934万円

「胎内市こども計画」を策定し、ヤングケアラーや子育て家庭の孤立などの諸課題に対応します。

生涯学習施設の整備

生涯学習施設整備事業
(新規) 1億274万円

生涯学習をはじめとする市民活動の拠点となるよう、基本設計等に着手していきます。

産業・観光の振興

有害鳥獣対策事業(拡充)
1,990万円

農作物に被害を及ぼす鳥獣の捕獲体制の強化や、不要果樹の伐採に要する費用補助を実施します。

関係人口創出の取組

大学・高校・地域連携推進事業
550万円

都市地域等から地域おこし協力隊を招致して、新潟食料農業大学及び開志国際高等学校に通う学生と地域との連携を促進し、地域活性化を図ります。

デジタル化の取組

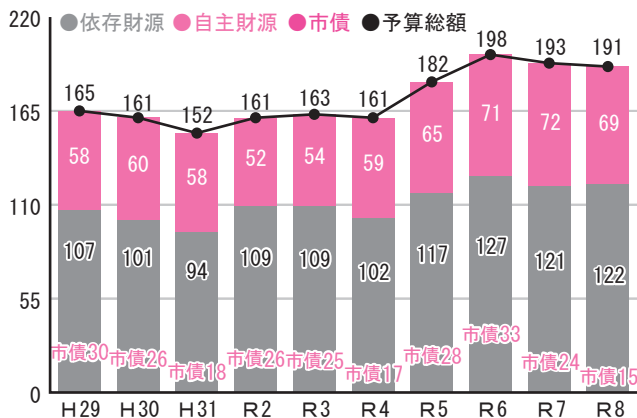
雇用促進支援事業
(新規) 946万円

新たな労働力の掘り起こしにつなげるため、単日・短時間就労を対象としたマッチングシステム(胎内マッチボックス)を導入します。



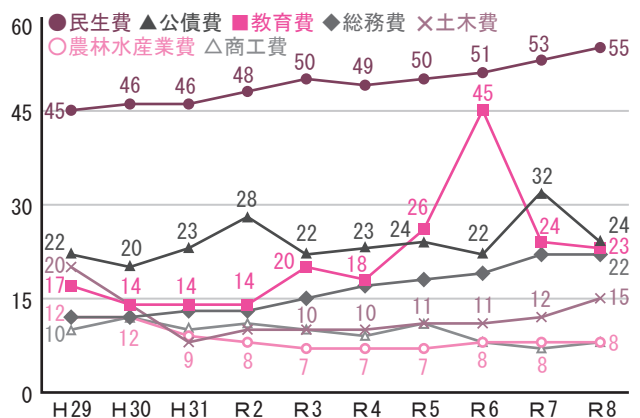
一般会計(歳入・総額)の推移

平成29年度～令和8年度 当初予算ベース ※単位:億円



主要歳出項目の推移

平成29年度～令和8年度 当初予算ベース ※単位:億円



グラフで見る (※1万円未満は、四捨五入のため、合計が合わない場合があります。)

当初予算の内訳

■以下の3種類を合わせたものが本市の予算です。

①一般会計 (191億7,800万円)

市税や国から配分される地方交付税などを財源に、市の基本的な行政サービスを行う金銭の収支です。

②特別会計 (74億7,890万円)

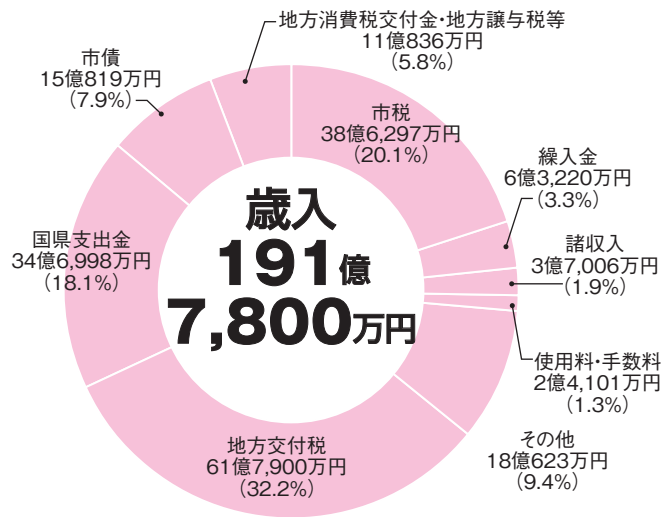
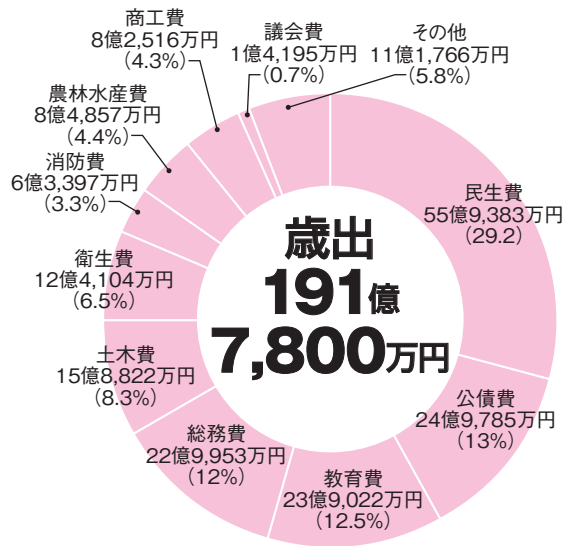
特定の収入によって事業を行い、その収支を明確にするために一般会計とは別に設置した会計です。

③公営企業会計 (48億7,702万円)

民間企業と同じように事業収益によって運営している会計です。



■一般会計



■公営企業会計

公営企業会計	予算額		
	収入	支出	
下水道	収益的	12億6,876万8千円	9億4,375万7千円
	資本的	6億4,194万4千円	10億8,706万3千円
農 排	収益的	7億1,155万5千円	5億6,501万8千円
	資本的	4億1,340万円	6億8,326万6千円
水 道	収益的	6億5,179万6千円	6億9,731万4千円
	資本的	3億1,530万円	5億5,144万9千円
簡 水	収益的	1億9,215万6千円	1億9,978万1千円
	資本的	1億1,286万5千円	1億3,712万3千円
工 業	収益的	1,154万9千円	1,225万8千円
	資本的	0円	0円

※収益的収支: サービス提供による収入と運営にかかる経常的な支出
資本的収支: 施設や設備の取得・改良など将来の支出

■特別会計

予算額		
収入	支出	
	国民健康保険事業	28億1,540万円
	後期高齢者医療	4億9,770万円
	介護保険事業	38億510万円
	黒川歯科診療所運営事業	4,110万円
	地域産業振興事業	2億6,630万円
	鹿ノ俣発電所運営事業	5,330万円

下水道…公共下水道事業
農 排…農業集落排水事業
水 道…水道事業
簡 水…簡易水道事業
工 業…工業用水道事業

予算審査特別委員会

審議内容

令和8年度一般会計をはじめとする12会計の予算について、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、2日間にわたり審査を行いました。主な質疑を紹介します。



▶ 予算審査の流れ



一般会計 総務費

質 奨学金返済支援補助金の予算額と見込み件数はどのくらいか。

答 予算額240万円で、約20件の申請を見込んでいます。

質 奨学金返済支援の一人当たりの補助額はどのくらいか。

答 1か月あたり1万円。年額の上限は12万円である。

質 第2種運転免許の取得支援補助金は誰が対象か。

答 タクシーとライドシェア事業者を対象としている。

質 一人当たりの補助額はどのくらいか。

答 一人当たり20万円を補助する計画である。

民生費

質 新規の「※胎内マッチボックス」の予算額と内訳はどのくらいか。

答 総額946万円で、システム構築に429万円、運営支援や登録促進などに275万円を計上している。

質 事業者や求職者の側にはどの程度の需要があるのか。

答 アンケートで事業者の4割、学生の7割が利用したいと回答した。



※胎内マッチボックス
短日短時間就労マッチングサービススキマ時間を活用して働きたい学生や一般の求職者と人手不足の市内企業をつなぐインターネット上のサービスです。

農林水産費

質 不用果樹の伐採補助金の予算や件数はどのくらいか。

か。

答 40件の申請を見込み、伐採費用の2分の1(上限5万円)で、柿や栗などが対象。燃料費や機材の借上料、謝礼、業者への委託料なども含まれる。

質 この補助制度を導入した最大の目的は何か。

答 放置された果実が熊などの野生動物を誘引するのを防ぐという獣害対策が主眼である。

商工費

質 「胎内なぞときプロジェクト」とは、どのような事業内容なのか。

事業内容なのか。

答 親子で市内の数箇所を巡り、隠された暗号やパズルを解いて物語を進める体験型ゲームである。

質 具体的にはどのような場所を周遊する計画なのか。

答

樽ヶ橋遊園や美術館、クアハウスなどないなどの拠点を周遊することを想定している。

質

このプロジェクトによってどのような効果を期待しているのか。

答

胎内市の魅力を発掘し、子どもや訪れる人が魅力を体感できる機会を創出した。

質

本町の活性化に向けたイベントの予算額はどのくらいか。

答

新規事業として93万6千円を計上し、商店街の賑わい創出を目的としている。

質

具体的には、どのような催しを計画しているのか。

答

既存のマルシェ等に加え、月に1回程度の歩行者天国やフリーマーケットなどを検討している。

教育費

質 小学校の給食費の負担はどのようになるのか。

答 令和8年度は小学校の給食費を無償化する計画である。

質 中学校の給食費も小学校と同様に無償化されるのか。

か。

答 中学校は無償化ではないが、物価高騰分を市が公費でカバーする。



令和8年度に無償化される小学校の給食

うなるのか。

答

税率は据え置きとし、市民負担が増えないよう配慮している。

質

低所得者に向けた保険税の軽減措置はどのようになっているか。

答

前年の所得が同じであると仮定した場合、それに応じて7割・5割・2割の軽減があり、対象は全世帯の約58.3%を見込んでいます。

公営企業会計

水道事業

質

スマートメータの予算と件数はどのくらいか。

答

通信料として26件分、3万5千円を計上している。

質

スマートメータをなぜ導入するのか。

答

検針業務が困難な個所を検針するためである。

国民健康保険事業

特別会計

質

令和8年度から子ども子育て支援制度が始まるが、国民健康保険税の負担はど

令和8年度施政方針について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をユーチューブで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。

緑風会



渡辺 宏行 議員

議員 市が現在実施している「短期集中予防サービス」の内容を見直し、複数の介護事業所で随時受け入れる方法に変更することだが、具体的な見直し内容は。

市長 市が直営で実施している教室方式から、介護保険事業所に、業務を委託する方法に変更する。これまで3か月ごとに、20人程度の対象者を受け入れ、集団指導により、介護予防プログラムを提供していた方法から、対象者を随時受け入れ、5人程度の小集団に対して、個別指導も取り入れながら実施する方法に変更するものである。

議員 デジタル化の取組として、マッチングシステムの導入を掲げているが、このシステムの内容は。

市長 マッチングシステムは、単日、短時間の就業機会を創出するもので、このシステムにより学生をはじめとした求職者が、市内で働きやすい環境の整備を進めるとともに、事業者における求人情報の掲載等にかかる事務負担の軽減を図り、短期就労の円滑な受け入れを促進することで、人材不足の解消につなげていく。



人口減少による集会所の維持管理について

議員 地域住民の減少と高齢化により、集会所の管理運営を担う、役員などの人材不足や集会所の維持管理にかかる費用負担の増加など、これまで集会所が培ってきた、コミュニティ機能が低下し、喪失する可能性が心配されるが、現状に対しての考えは。

市長 危機感を持っているがゆえに、集会所建設補助金やコミュニティ助成事業に加え、新たな自治会活動応援型補助金を創設した。行政として、でき得る支援に努め、地域の主体性や共助の力を高めていく。

「城の山古墳」の整備について

議員 「城の山古墳」の全体の整備計画は、どのようになっ

ているか。



城の山古墳

教育長 令和3年度に策定した整備基本計画をもとに、7年度に基本設計を行い、8年度に実施設計、9年度から古墳本体の工事を始める。その後周辺広場の公園整備工事を行い、14年度までに整備を完了する予定。

議員 ガイダンス施設の建設計画と設置場所は。

教育長 城の山古墳の近辺に出土品の展示や解説を行うための施設の設置を検討している。今後古墳の公園化と並行しながら、具体的な整備計画と適切な設置場所を定める予定である。

少子化について



政和会



天木 義人 議員

議員 出生数の減少で、小学校の入学児童も減少しており、小学校の統合も早期に求められている。新たに校舎を建て替えせず、既存の校舎を活用して統合を早期実現できないか。

教育長 校舎が使えるからといってすぐに統合の話を行わせるのではなく、市民、保護者などの意見を十分聞き、議論を進めていく。

市長 統合は校舎だけの問題ではなく、通学、教員の配置、地域との合意形成、様々な諸活動等総合的に考えなければならぬ。



築地小学校

R8年度～R10年度までの小学校入学
予定人数 (R7年5月現在)。

校名	R8	R9	R10
きのと	11人(10)	13人	11人
築地	15人(16)	18人	14人
黒川	15人(14)	11人	11人

カッコはR8年度入学者数

学校体育館の 空調設備について

議員 気候変動による熱中症対策の必要性や、子供たちの学習の場と共に、災害発生時の避難場所でもある学校体育館の空調設備が求められ、国も早期の取り組みを進めている。

文部科学省の資料によると、小学校体育館の延床面積900㎡で空調面積720㎡のモデルケースでは、空調設備工事費3千500万円～4千万円、断熱工事費で400万円～700万円と積算され、その場合、小学校5校で2億3千500万円、国庫補助金、その他の補助金を充当すると実質負担額は25%で約5千875万円位で設置できる。

市長 本市の体育館の面積は900㎡以上の規模であり、近年の建築資材や労務費の高騰等と整備内容にもよるが小学校

5校で5億円以上と試算。交付金には※補助単価があり、整備手法によっては、必ずしも25%の負担額とは限らない。

議員 昨年、一昨年の猛暑日で体育館での授業が出来なかった日は何日あったか。学校教育課長 暑さ指数により体育館が使用できない日が数日間あったと聞いている。



中条小学校体育館

※補助単価

文部科学省が定める体育館の空調整備において補助する㎡単価。R7年3月6日時点では、5万3千円前後。

高齢者の人間ドック助成引き上げについて



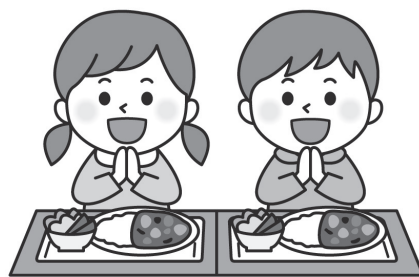
日本共産党胎内市議団



丸山 孝博 議員

議員 人間ドック受診に伴う助成額は74歳までの国保加入者は受診額の3分の2補助で、上限2万5千670円。しかし、75歳になると、1万円のみ助成でしかない。高齢者が気軽に安心してドックを受診できるよう国保並みの助成額に引き上げるべきではないか。

市長 県後期高齢者医療広域連合から交付される補助金に一般財源を上乗せして1万円の費用助成を継続している。現在の人間ドックの助成額を維持しつつ、健康維持を主眼とした支援を強化する。



小中学校の給食無料化について

議員 給食費の支援について、小学校は近隣自治体の動向を踏まえ検討するとしているが、動向はどうか。また、保護者負担なしにすべきではないか。

市長 新発田市、村上市、阿賀野市、聖籠町及び関川村の全ての小学校で、国からの交付金の差額を自治体の負担で無償化を行う。当市についても無償化する考えである。

議員 中学校の無償化の考えはどうか。

市長 引き続き物価高に係る食材費上昇分を支援する。

小学校体育館のエアコン設置について

議員 令和8年度予算において、小学校の基本設計を行うとしているが全小学校か。

市長 市内全5校の小学校を対象に基本設計を一括して実施する。

生涯学習施設について

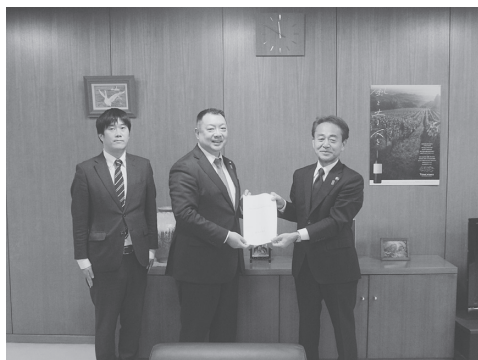
議員 審議会では、市が示した6つの候補地について検討されたようだが、候補地の現地調査は依頼したのか。

市長 市から一律に現地調査を依頼することは行っていない。委員の多くの方が地域の状況を認識しているし、個々に確認した方もいたため、比較検討を行う上で十分な情報提供が行われ、その下地は整

えられていた。

議員 昨年11月28日に、市議会から「様々な手法を用いて広く市民の声を把握し、的確に反映させる」ことを要望したが、どう受け止めているのか。

市長 要望書の趣旨を尊重し、総合的に勘案しながら、市としての方針決定を行う。



昨年の11月に要望書を提出

総合計画後期基本計画について



公明党



渡辺 栄六 議員

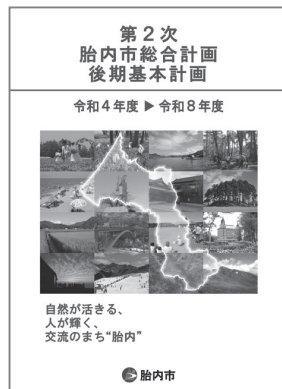
議員 後期基本計画に掲げた各分野の施策について、全体的な評価と達成度をどのように認識しているのか。

市長 全29施策のうち全体の7割を超える施策において進捗が図られている。一方で遅れている施策については、社会情勢等を踏まえた対応が必要と捉えている。

議員 目標設定した事業について、達成できたもの、達成が困難であったものがあると考えるが、どのような要因分析をしているのか。

市長 計画策定時に想定した対象者数などの需要が下回ったことや、天候不順、社会情

勢の影響などであったと捉えている。



人口減少を踏まえた

地方創生の取組について

議員 若者や子育て世代に選ばれるまちであることが重要と考えるが、住宅、子育て支援、教育、働く場の確保などをどのように進めていくのか。

市長 若い人にとって魅力があると感じてもらえるようなまちづくりや、文化芸術の充実なども大切であるため、それらに関連付けた支援策やPRを検討していく。

議員 国は東京一極集中の是正を掲げているが、本市として東京圏との関係性と役割をどのように捉えているか。

市長 自然と、農業や中山間地域活性化の取組など、魅力に関係づけて胎内市を知ってもらうとともに、観光で訪れる交流人口の拡大と関係人口へつながるような取組をしていきたい。



樽ヶ橋河川公園

た期間を踏まえ、重点的に取り組むべき分野や課題について伺う。

市長 SDGsは持続可能な開発目標であることから、永続性のある考え方の下で課題を捉え、各分野においてできる取組を続けていくことが肝要であると考えている。

SDGsの取組について

議員 ※SDGsの目標年次である2030年まで残され



※SDGs
持続可能な開発目標。
貧困、環境破壊、不平等など17の目標と169のターゲットで構成された世界共通の行動計画。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。

支え合いの推進について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



渡辺 秀敏 議員

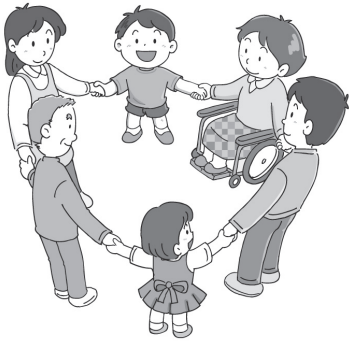
議員 少子高齢化・人口減少の中において、地域での支え合い体制づくりは今後ますます重要になってくるが、市民協働の現状について伺う。

市長 ボランティア活動参加者数や市とNPO等との協働事業数がいずれも目標値を上回り、市民協働の基盤が成熟してきている。今後も更に連携を深め、市民が主体となる活動への支援など新たな協働の機会を創出していくとともに、地域コミュニティの活性化を図っていききたいと考えている。

議員 今年度新設した自治会活動応援型補助金の有効性に

ついて伺う。

市長 各地域の実情に応じた主体的な取り組みに活用されており、地域コミュニティの維持・活性化に向けたきつかけ作りとなっている。今年度の主な使途としては、世代間交流の取り組みや、集会所の改修に向けた基金の積み立てなどのほか、高齢者の見守り活動や、災害時に備えての備品購入など、地域の支え合い・助け合いに関する取り組みにも活用されている。使途に悩まれている地域には、必要に応じた担当職員が出向き、説明や相談に応じていきたいと考えている。



健康長寿の

まちづくりプロジェクト

議員 高齢化社会における様々な課題を解決するためには、健康寿命の延伸を図ることが最も効果的である。そこで、介護予防の取組について伺う。

市長 介護予防推進のための重点的な取り組みとして、随時短期集中予防サービスを実施し、要介護リスクが高まった高齢者を速やかに回復させるとともに、通いの場の充実を図っていく。

議員 ウォーキングや生涯スポーツの普及を図ってはどうか。

市長 令和7年度からグッパイヘルスケアというスマホアプリを活用して、ウォーキングラリーの形式で日ごとの歩数を競い、運動の習慣化を目指している。



グッピーヘルスケアポイント交換会景品

DX化について

議員 住民票等のコンビニ交付は土日及び平日の6時半から23時まで利用できるが、その割合はどれくらいか。

市長 住民票が29.4%で印鑑登録証明書が26.2%である。所得証明書等の税証明についてもサービス開始の準備を進めている。

病院への支援について



羽田野 孝子 議員

議員 新聞等で病院の経営難について報道されるなか、2月9日に黒川病院と中条中央病院を厚生環境常任委員会で視察してきた。両病院とも市内在住の勤務職員の割合は40%を超え、利用患者は黒川病院が40%、中条中央病院が70%を超えていた。両病院は職員確保が困難な上、物価高騰で経営が厳しい状況にあると聞いた。両病院への市の支援実態と今後の支援については。

市長 中条中央病院に対しては第2次救急医療を担っているため、病院群輪番制運営補助金と第2次救急医療運営費

補助金を交付しているほか、医療設備購入費とX線CT診断装置導入費用の補助金を交付している。黒川病院へ補助は行っていないが、中条中央病院・黒川病院の両病院へ燃料費や物価高騰に対する支援を地方創生臨時交付金を活用し支給している。両病院とも地域医療の中心的な役割を担う重要な医療機関であり、引き続き必要に応じ支援を検討していく。



中条中央病院



黒川病院

外国人の状況について

議員 2月投票の衆議院議員選挙で外国人の対応について争点になり、市内の外国人が気にかかった。国籍別人数や労働状況等については。

市長 令和8年1月末現在の外国人登録者数は370人で、国籍別では23か国で中国130人・ベトナム74人・インドネシア55人でアジア地域が77%である。在留資格別では、留学生101人・就労者178人・その他91人。労働者の就労実態は把握していないため、今後は適切な把握に努めていく。

議員 内閣府は、単なる労働力としてではなく、地域社会を構成する一員として受け入れ、互いに尊重し、安全安心に暮らせる共生社会を実現していくことが重要としているが。

市長 地域においても、人権を尊重して、お互いさまの考

えて暮らしていける環境整備を図っていくことが重要と認識している。

民生委員児童委員・主任児童委員について

議員 市報たいない12月1日号に厚生労働大臣より委嘱された委員の一覧表が掲載されたが、電話番号が載っていないと問い合わせがあったがその理由は。

市長 要支援者への訪問活動等の際に、委員の方が自ら連絡先を伝えていくほか、市が必要と判断した場合に民生委員へつなぐ対応をしており、民生委員のプライバシーを守る視点からも連絡先を一般に公開していない。

福祉まると相談窓口について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をユーチューブで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



坂上 隆夫 議員

議員 今年度の利用件数、相談内容、特に相談件数が多い月などはあるのか。

市長 令和8年1月末時点での相談件数は95件で、相談内容の主な内訳は、病気や健康、障がいに関するものが34件、家族との関係に関するものが19件、介護に関するものが9件で、昨年同様、相談は4月から7月にかけて多く寄せられている。

議員 令和元年に開設し7年目になるが、開設当初と最近で相談内容の変化はあるのか。

市長 最近の傾向として、地域との関わりが少ない人から



相談窓口

の日常的な電話連絡が増加する一方で、収入、生活費に関すること、DV、虐待に関することの相談割合は減少傾向にある。また、生活困窮の相談に応じる生活応援センターや胎内市社協、高齢者の相談窓口である地域包括支援センターに寄せられる相談件数が増加しているため、これらの関係機関となお一層の連携を図り、複雑・多様化する相談の早期解決に丁寧に対応していく。

教育環境について

議員 体育祭や運動会、文化祭については充実しているのか。また、児童生徒が減少する中で今後それら行事の在り方についてはどのように考えているのか。

教育長 児童生徒数が減少する中で各校が学校の規模に応じた工夫や内容の精選を行い、児童生徒が主体的に関わる行事づくりに努めており、その教育的意義は発揮されているものと認識している。今後は、児童生徒の成長につながる教育効果を高める観点から、規模や状況に応じた工夫、改善に努めていきたい。



議員 市内の児童生徒が共通の意識を持ち、一つのことをやり遂げるのは交流活動の充実を図るよいことだと思うが、一つのこと集中するよきな行事を行ってはどうか。

教育長 本市では小学4年生によるジュニア音楽祭や小学6年生による親善陸上競技会など、共通の目標に向けて取り組む機会を設けている。今後も交流の在り方を工夫し、より一体感や達成感を育む取組の充実に努めていく。



今冬の降雪について



増子 達也 議員

議員 要援護世帯雪下ろし助成事業の委託における雪下ろしは、危険な作業になる場合が多いが安全対策はどのように行っているのか。

市長 委託契約先に転落防止のための器具を使用するようお願いをしている。

議員 アンカー設置の助成率を引き上げるなど安全のために推進していくべきではないか。

市長 補助制度があまり利用されていないので検討してみたいと思う。来期以降の冬の課題にしたい。

議員 要援護世帯雪下ろし助成事業の対象外であっても仕

事をやめたばかりの方や、病気がやがで雪下ろしができない方に対して今期だけ対象にするなどの柔軟な対応は可能か。

福祉介護課長 事情を伺い、必要があれば対象としている。

議員 過去に対応したケースはあるか。
福祉介護課長 足を骨折して雪下ろしができない方を対象とした事例がある。



胎内スキー場について

議員 県内スキー場において

グリーンシーズンの開発が進んでいるがグリーンシーズン利用の考えはあるのか。

市長 民間事業者が参入してくれるかを見定めた上で方針を定めるべきと考える。



胎内スキー場

選挙について

議員 投票率を上げる試みはあったか。

選挙管理委員長 市報や市ホームページによる選挙の周知に加え、防災無線や防災アプリ、市公式ラインを通じて

議員 衆議院選挙における入場券の配布が遅れたようだが、混乱はなかったか。

選挙管理委員長 入場券がなくても投票できる旨を防災無線や防災アプリ、ラインを使い周知した。入場券の問い合わせは20件程度あったが、受付でのトラブルはなく混乱もなかった。



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。

農業水利施設の点検整備について



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。



小野 徳重 議員

議員 水田未整備地の老朽化した農業用水路（U字溝）の点検整備はどのように行われているのか。また今後整備の予定はあるのか。

市長 土地改良区の管理区域内は各管理区で、管理区域外は関係する農業者が点検整備を行っている。現在改修の予定はないが、多面的機能支払交付金等を活用しながら対応していく。

議員 ほ場整備することで解決すると思うが、土地改良区と歩調を合わせて事業を推し進められないか。
市長 環境を整え、後押しできる部分があれば努めてい

く。要望や働きかけ、合意形成に係る部分について、時にはリーダーシップを取って話を進めることに意を用いていきたい。



農業水利施設

女性の能力活用について

議員 働く意欲と能力を持つ女性の就業継続には、ワーク・ライフ・バランスが大切であるが、当市において多様な働く場所はあるのか。

市長 市では、第4次胎内市男女共同参画プラン21において、ワーク・ライフ・バランスの推進、働く場における男女共同参画の促進を掲げ、取り組みを進めている。

議員 色々な施策を講じているが、成果は出ているのか。

市長 様々な外部機関や審議会組織に占める女性の割合は格段に多くなっている。

議員 市役所の幹部職員に女性が少ないと感じるが、どのように認識しているのか。

市長 管理職に占める女性の割合は5.6%で十分な水準とは言えないが、登用には指導能力や適性に基づき適任者を配置している。また、若年世代の女性職員を市政の企画や総務管理部門に配属し、重要な職務経験を積んでもらうなど人材の育成に取り組んでいる。

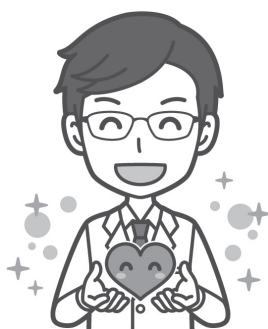
休職している教職員への対応とメンタルヘルス対策について

議員 市において長期に休職している教職員の人数と理由を伺う。

教育長 2月末時点で連続30

日以上長期休職者は小中学校併せて6名で、精神的不調が4名（現在復職）、けがや病気が2名となっている。精神的不調には児童生徒との関係づくりに対する悩み、職場での人間関係等の様々なストレスがある。

議員 メンタルヘルスが大切であるがその対策は。
教育長 ストレスチェックの実施、専門員の相談体制、継続的な面談を行い、実効性のあるメンタルヘルスケアを着実に進めて行く。



※その他の質問

ハラスメントについて

空き家対策について

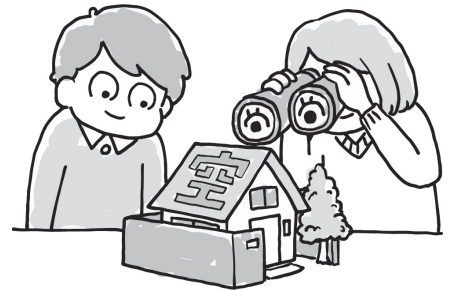


坂上 清一 議員

議員 5年に一度行う、市内全域の空き家実態調査を令和7年10月から12月まで実施したが、その調査結果はどのような内容であったか。

市長 空き家の総数は797棟で214棟の増加となっており、この結果を踏まえ、現在、所有者等に対しアンケート調査を行っている。今後は、調査結果を精査した上で、所有者への適正管理を促したり、地域と空き家の利活用に対してマッチングを図る等、空き家の適正管理の推進に努める。

議員 空き家等総合相談窓口が開設されているがこれまでの相談件数と内容を伺う。



市長 令和7年度は12月末時点での相談件数で、流通・活用に關するものが8件、相續に關するものが7件、解体に關するものが39件、維持管理に關するものが13件、苦情が30件、その他が2件で、合計99件となっている。近年は、解体、維持管理、相續など、空き家の処分や管理に關する実務的な相談が増加している。

議員 空き家等解体補助金の相談件数と申請件数について伺う。

市長 相談件数が36件、現地

調査数が4件、申請及び交付決定に至った件数は1件である。決定件数が少ない要因は、国の補助制度における不良度判定の基準が高く、相談をいただいた物件の多くが要件に該当しなかったことにある。その為、令和8年度からは、所得要件は令和7年度と同様としながらも、国の基準に該当しない住宅についても解体費用の2分の1、上限50万円を補助する市独自の制度を新たに設け、より利用しやすい制度にしたいと考えている。

今後の観光施設について

議員 樽ヶ橋エリアの活性化に対する考えについて伺う。

市長 樽ヶ橋エリアは樽ヶ橋遊園や美術館を中心に賑わいがあるが、次年度実施する樽ヶ橋エリア内3施設で利用できる周遊パスポートの発行



胎内市美術館

や、そのエリアを含む市内全域を対象としたデジタルスタンプラリーを通じて、多くの観光客を呼び込んでいきたい。

質問・答弁の内容、文は本人の草稿によるものです。各議員の一般質問の様子をYouTubeで見ることができます。専用コードからアクセスしてください。

令和8年 第1回定例会議決結果

全会一致で可決された議案

令和8年度当初予算	令和7年度補正予算
<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険事業特別会計予算 ・介護保険事業特別会計予算 ・黒川歯科診療所運営事業特別会計予算 ・地域産業振興事業特別会計予算 ・鹿ノ俣発電所運営事業特別会計予算 ・公共下水道事業会計予算 ・農業集落排水事業会計予算 ・水道事業会計予算 ・簡易水道事業会計予算 ・工業用水道事業会計予算 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計補正予算（第10号）【専決】 ・一般会計補正予算（第11号）【専決】 ・一般会計補正予算（第12号） ・一般会計補正予算（第13号） ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） ・介護保険事業特別会計補正予算（第4号） ・介護保険事業特別会計補正予算（第5号） ・地域産業振興事業特別会計補正予算（第3号） ・鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算（第2号）
その他	条例の一部改正
<ul style="list-style-type: none"> ・財産の無償譲渡について【中村浜地内】 ・財産の無償譲渡について【川合集落開発センター】 ・財産の無償譲渡について【持倉生活改善センター】 ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について【黒川東部】 ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について【築地南部】 ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について【築地西部】 ・過疎地域持続的発展計画の策定について 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ・社会体育施設条例の一部を改正する条例 ・集会所条例の一部を改正する条例 ・災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 ・介護保険条例の一部を改正する条例 ・築地農村環境改善センター条例の一部を改正する条例 ・生活改善センター条例の一部を改正する条例 ・消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
指定管理者の指定	条例の制定
<ul style="list-style-type: none"> ・公の施設に係る指定管理者の指定について【苔実区】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【下館自治会】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【黒俣自治会】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【蔵王区会】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【東牧自治会】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【近江新集落】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【塩沢集落】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【下江端自治会】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【坪穴集落】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【塩谷集落】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【宮久区会】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【前山台集落】 ・公の施設に係る指定管理者の指定について【榎胎内リゾート】 	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスセンター条例 ・特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
	条例の廃止
	<ul style="list-style-type: none"> ・風倉発電所運営事業基金条例を廃止する条例 ・認定こども園条例を廃止する条例

賛否が分かれた議案（2件）

議案名	議員名														議決結果	賛成※	反対※	
	森本将司	平井孝	渡邊雅茂	増子達也	筧智也	坂上隆夫	羽田野孝志	佐藤武志	渡辺秀敏	坂上清一	小野徳重	渡辺栄六	天木義人	渡辺宏行				丸山孝博
一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	原案可決	11	4
後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	×	原案可決	13	1

「原案可決」：全員賛成または、賛成多数により可決。

「否決」：賛成少数または賛成なしにより否決されたもの。

※ 議長は地方自治法第116条により表決には参加しないため、表決に参加する全議員数は15名。

※ 賛成者は「○」、反対者、または賛成以外は「×」、欠席は「欠」、退席（棄権）は「退」。

反対討論

天木義人 議員

生涯学習施設基本設計委託料は9,234万5,000円であり、嘉平山に建設することに反対である。建設予定地の決定権は議会にはなく、それに係る予算案に反対するしかない。

生涯学習施設については、老朽化した現在の中央公民館と図書館の機能を合わせた複合施設の建設に向け、令和元年より胎内市生涯学習施設整備検討委員会を設置して検討されてきた。

建設予定地は、市街地から遠く、徒歩や自転車では難しく、車を利用しなければならぬ。山間地のため、熊や猿等の出没も考えられ、冬季間や夜間の利用も大変不便な場所である。また、嘉平山にはライフラインが整っていない。道路整備、上下水道、電気設備に加え、その地形は高低差があり、造成・整地などに多額の経費が必要になる。

以上のことから令和8年度一般会計予算に反対する。

賛成討論

筧智也 議員

本予算は、次世代が希望を持てるまちとなっていくために必要な施策が確実に推進されていく必要があり、生涯学習施設の整備や小中学校再編などの大規模事業が控えていることを踏まえ、様々な配慮がなされていると思われる。

激甚化・頻発化している自然災害への備えや、地域コミュニティの維持・活性化の下支え、有害鳥獣対策の強化、地域全体で子育てを支え合うまちの実現に向けた胎内市子ども計画の策定など、幅広い年代を対象としており、財政調整基金の繰入額を前年度よりも抑えた上で、各事業へ十分な予算配分がなされている。

健全な財政運営を通じて、住民の生活向上と地域発展が実現されることを期待する。

反対討論

丸山孝博 議員

後期高齢者医療制度は2年ごとに保険料の見直しが行われ、胎内市の令和8年度と令和9年度の保険料は年額6万5,675円で、1万1,222円、10.28%の値上げである。

反対する第一の理由は、すでに過重な保険料をさらに引き上げることは、高齢者の命を脅かしかねないからである。深刻な物価高、加入者約5,700人のうち、ほとんどの高齢者は少ない年金収入のみで、さらなる保険料の値上げは大きな負担になる。県広域連合の財政安定化基金のさらなる活用や国、県の財政措置による負担軽減こそ必要である。

第二の理由は、必要な社会保障は自己負担の増額ではなく国の財源で賄うべきだからである。

国の社会保障抑制方針によって、現役世代も年金世代も、苦しめられ続けてきた。少子化対策も医療費への対策も国の財源で賄うべきである。

賛成討論

坂上隆夫 議員

後期高齢者医療制度は、新潟県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、市町村と連携しながら事業運営を行っている。

保険者である広域連合は、将来の被保険者数や医療給付費を推計し、安定的な財政運営に必要な保険料率を定めることが役割のひとつであり、令和8年度及び令和9年度後期高齢者医療保険料率の改正は、増え続ける医療給付費を賄い持続可能な制度としていくために必要な措置であり、十分に理解できる。

なお、新たな保険料率の決定は、県内各市町村議会の代表で構成される広域連合議会において慎重に審議され、全会一致で決定されたものである。

常任委員会審査

総務文教常任委員会

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

鳥獣被害対策実施隊員の負担手不足が懸念される中、その活動の持続と安定的な捕獲体制を維持するため、報酬の増額を行うもの。

質問 出勤要請と自主パトロールへの対応の違いは。

答弁 緊急銃猟に対する出勤要請に対しては稼働時間に関わらず1日2万円で設定し、自主パトロールは時給3千円で申告制とし確認を取りながら対応したい。

質問 金額制定の根拠は。

答弁 猟友会市内4分科会の会長、事務局との話し合いを行い、近隣市の状況も勘案して設定した。

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

令和7年度から令和9年度までの3か年を計画期間として、整備を進めている黒川東部辺地について、事業費の増額と新規事業に伴いその計画を変更するもの。

質問 特産物加工施設（みゆき庵）改修とあるが厨房の改修か。

答弁 厨房の老朽化と動線見直しのための改修である。

質問 当該施設は築何年になるか。利益は出ているのか。

答弁 昭和56年建築で収支は毎年プラスである。

付託された他11件についても可決すべきと決定した。

厚生環境常任委員会

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

「子ども・子育て支援法」の改正により、税額算定の際に、子ども・子育て支援金が導入されるため、所要の改正を行うもの。

具体的には、令和8年度から新たに、子ども・子育て支援金の税率を、所得割を0.27%、均等割を1千600円と定める。その分、医療分について所得割を0.27%引き下げ、均等割を1千600円引下げることにより、被保険者に新たな負担が生じないように調整を行ったもの。

質問 全世帯で子育てを支援する制度だが、一人当たりの負担額は平均でいくらになるか。

答弁 一人当たり所得割と均等割りを合わせて年額3千円程度を見込んでいます。

質問 令和8年度から10年度まで段階的に増額されるが、どの

くらい増額されるのか。

答弁 年間でおおよそ1千円ずつ上がっていく。

質問 子ども子育て支援金はいくらで、その財源をどのように確保するのか。

答弁 おおよそ1千500万円弱見込んでいますが、繰越金を充てる予定である。

付託された他6件についても可決すべきと決定した。

【お詫びと訂正】

議会だより2月13日号、会派構成で誤りがありました。正しくは次のとおりです。

17ページ（誤）「胎生会」
（正）「胎政会」

お詫びして訂正いたします。

常任委員会審査

まちづくり常任委員会

生活改善センター条例の一部を改正する条例

持倉生活改善センターについて施設の処分制限期限の38年を経過していることや、指定管理者の指定期間が今年度で満了となることから、持倉集落に無償譲渡したく条例の一部を改正するもの。

質問 旧黒川村は指定管理しているところが多いが、今後も処分期間が過ぎたところは同じようになるのか。

答弁 財産処分制限が過ぎた集落は現在12集落で、今後無償譲渡になる。しかし1集落においては世帯数が少なく、施設の維持管理が難しいとの理由で無償譲渡を希望しないという集落もあった。今後は指定管理制度を利用しながら集落で管理してもらう予定である。

質問 集落との合意形成はできているのか、市から一方的な説

明で終わっていないか。

答弁 昨年9月頃、持倉集落の区長に説明し、その後無償で譲り受けたいとの要望を受けた。またこの指定管理は当初国県の補助事業で整備された施設で、処分制限期間が過ぎないと譲渡できないものであり、その処分期間が経過後に無償譲渡するという話を昨年に11集落の区長にも伝えている。

付託された他17件についても可決すべきと決定した。



持倉生活改善センター

その後シリーズ

新発田地域広域事務組合 新庁舎整備事業 「地域住民の暮らしを守る、安心・安全の拠点」

「その後」

議会では、令和7年9月19日に、建設中の新庁舎を視察した。

建設から約50年が経過し老朽化した、広域合同庁舎と消防本部・新発田消防署を一体化する建物で、建設率60%程度の段階であった。今後、内装や機材搬入などがされるとのこと。



【その後】令和8年3月22日竣工式が行われ、4月1日より運用開始。

国道7号沿いに建設され、地上3階建ての庁舎、訓練棟、ヘリポートなどが整備されており、建築工事費は約4.2億円。

市街地から沿岸部、山間部まで広範囲に住まう人々が安心して生活するための拠り所となることでしょう。



新庁舎開放イベントが開催されます！

日時 令和8年5月31日(日) 9:30~15:30 ※荒天時中止
場所 新発田市巾中町3丁目30番地2 新発田地域広域事務組合消防本部

各種
イベント

1日消防署長(元 SKE48 田辺美月さん)
救助技術大会試技披露・消防団連携訓練
濃煙体験・訓練棟見学・消防車両展示
防災関連企業コラボイベント
ゆるキャラコーナーなど盛りだくさん!

総務文教常任委員会

1月14日に、地域みらい留学と中条高校地域アカデミー発表会について調査した。

地域みらい留学について

市が実施する中条高校への地域みらい留学の現況について、担当課に確認できている内容を委員間で共有した。

3人の枠を設けた初年度、早速1名の応募があったとのこと、今後、学生生活における住居費や食費の半分程度を市で支援していくとのこと。

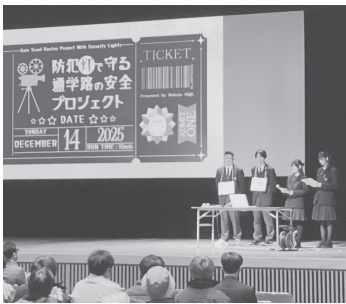
今後広く認知され活用されることを期待する。

中条高校地域アカデミー発表会

産業文化会館多目的ホールにて行われた発表会では中条高校独自の探究学習の取り組みであり、「胎内市をフィールドとして地域と共に中条高校生を育てるプログラム」として、地元企業、地域の社会人や大学、胎内

市と連携して地域学習を行いながら地域貢献活動を行う人材育成プログラムで、課題や目的別に調査を行った26のグループから事前に選ばれた6グループがステージ発表を行い、外部審査員による審査を受け、最優秀賞・審査員特別賞などが選出された。

これからも「中条高校らしさ」を携えていただき、地域とともに発展していくことを願う場となった。



地域アカデミー発表会

厚生環境常任委員会

当委員会では2月9日、市内の病院2か所を訪ね、病院の概要と現状について意見交換してきた。

黒川病院

平成4年12月に新築移転。急性期病棟・慢性社会復帰病棟・認知症病棟で合計263床。令和7年末入院患者は238人で、うち胎内市民は98人。外来は令和7年3月1か月の人数は927人で、うち胎内市民は423人であった。職員は210人で、うち胎内市民は97人であった。議員の質問で、児童の診察はしていないが高校生から受けているとの答弁であった。

中条中央病院

平成2年10月にオープン。令和6年度の実績では、外来患者総数は5万2千人、入院ベッド数は90床で入院延患者数2万8千572人。外来入院共7割以上が胎内市民であった。休

日・夜間の救急患者を638人受け入れていた。職員数は157人で、うち胎内市民は73人であった。両病院は、患者・職員とも胎内市民の割合が高く、市にとってはなくてはならない病院と認識した。両病院とも職員不足と光熱費・物価高騰で経営困難と聞いた。地域医療を守っていくには国県及び市の支援が必要と感じた。



中条中央病院

閉会中所管事務調査報告

まちづくり常任委員会

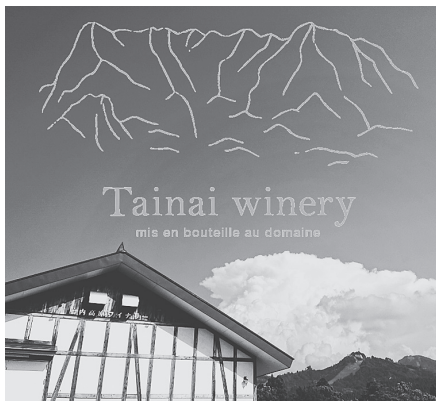
2月2日に胎内市商工会（商業部会・サービス部会）と
議会との意見交換会を開催した。
複数のテーマをもとに意見交換が行われた。

人手不足と物価高騰について

人手不足はそれほど深刻な感
じはなかったが、物価高騰は苦
慮しているのがはつきりと感じ
られた。特に飲食店やサービ
スは、販売価格に転嫁できてい
ない事業者が多いようだ。毎年
10月には最低賃金が更新される
ため、仕入れも上がる、しかし
客離れにつながるため安易に価
格転嫁できないといった苦しい
現状を確認できた。

胎内市の特産品について

沢山の特産品があるのにも関
わらず、実際には無いに等しい
現状が感じられた。胎内市産の
農産物や加工品については評判
が良いとも聞くので、販売戦略
を一から見直し、観光協会も
とより、自治体や商工会、農協



胎内高原ワイナリー

や生産者、学校や地域の方、専
門家などを連携させながら、根
気よく育てていかなければな
らないと感じた。
その他のテーマでも貴重なご
意見をいただいた。今後の議会
運営に役立ていきたい。

皆さまの声をおきかせください！

市民と議会の 意見交換会

5.24(日)

午前の部 ▶ 10時 START
午後の部 ▶ 1時30分 START
会場 ▶ 市役所本庁舎



申し込み方法

常任委員会ごとにテーマを設定していますので、
ご興味のある委員会を事前にお知らせください。



《電話で》
43-6111



《メールで》
gikai@city.tainai.lg.jp



《FAXで》
44-7875



《電子申請で》



総務文教 常任委員会

- (1) 防災について
- (2) 選挙の投票環境について
- (3) 市の情報発信について

厚生環境 常任委員会

- (1) 子育てしやすい環境づくりについて
- (2) 医療、福祉の充実について
- (3) 健康づくりの推進について

まちづくり 常任委員会

- (1) 観光資源と集客について
- (2) 安心・安全で暮らしやすい街づくりについて
- (3) 農業と特産品について



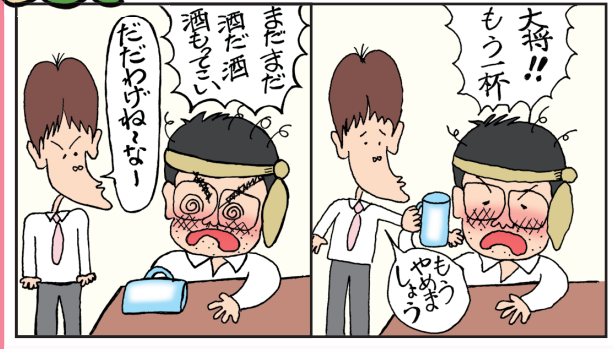
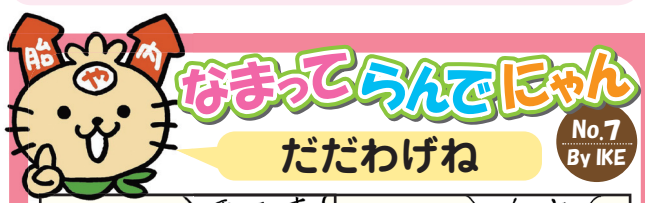
令和8年第2回定例会の日程 (予定)

- 6月 2日 本会議 (初日)
- 5日 議会運営委員会
- 9日 総務文教常任委員会
- 10日 厚生環境常任委員会
- 11日 まちづくり常任委員会
- 18・19日 一般質問
- 23日 本会議 (最終日)



胎内小学校 6年
鈴木美南 さんの
作品です。

私の将来の夢は、図書館司書です。小さい頃から本が大好きで、図書館は、私にとって落ち着く場所だからです。家族や友達、先生がいつも支えてくれるので、たくさん勉強を頑張って夢を叶えたいです。



意味 きき分けがない様子
市全域で使用

「胎内市の未来を担う子どもたち」

表紙の写真

将来の夢は…
左から
尊(たける)さん 小6
『ゲーム実況者』
渉(わたる)さん 小4
『銀の盾がもらえるようなユーザー』
唯(ゆい)さん 年長
『ママ』



編集後記
灰色の季節が終わり、空や大地に色が付き始めました。春は桜、そしてチューリップとそれぞれの色と形で目と心を楽しませてくれます。今号ではページ内にも花を新たに配置しています。すでに読まれた方も、これから読まれる方も探してみてください。また、これまで読みづらいとご意見のあった文字色についても見直しを行いました。今後読みやすく楽しんでいただける紙面を目指して参ります。
(森本将司記)

本会議をライブ中継で配信中です！

本会議の様子をYouTubeで生配信しています。詳しくは、専用コードまたは市ホームページ「市議会」をご覧ください。過去の映像もご覧いただけます。本会議の様子は、本庁舎1階ロビー及び産業文化会館(ロビー)でも視聴できます。



※本会議を傍聴する場合は本会議当日に本庁舎5階にお越しください。